

海上保安官による貨物船の乗揚げ回避

アラーム鳴動により
注意喚起を開始

水深減少海域

海上保安官の継続
指導により反転開始

貨物船の航跡
199トン、56メートル

SHINYOMARU



管制卓の状況



令和3年7月12日、高知港口付近において、水深減少海域（浅瀬）に向かって航行している貨物船を認知した海上保安官は、直ちに該船の船舶電話に架電し、このままの進路では乗揚げの危険性があるので、同海域を回避して出港するよう指導を実施しました。その後、該船はこの指示に応じて反転し、無事に出港していきました。該船の船長は、高知港の入港が初めてで、浅瀬の存在は知らなかったと話していることから、高知海上保安部では船舶代理店等に対し、改めて周知の徹底をお願いしました。